

センサーと記録ソフトを連携し、記録を自動化

データ連携

可視化

申請事業者：特定非営利活動法人あつたかほーむ愛あい(日向市) 従業員数：71名
業 種：介護事業 設 立：2008年



センサーの設置＋記録の自動化により、利用者のプライバシーにも配慮！

取組の概要

導入部門：介護課

導入業務：夜間見守り業務、排泄記録業務

導入目的：記録時間の削減、夜間巡回業務の削減

導入技術：体動検出センサー「眠りSCAN」、排泄検知センサー「サニタリー利用記録システム」、接続ツール「ほのぼのIoT接続ツール」

導入手法：眠りSCAN、サニタリー利用記録システムで取得した利用者の状態データを介護ソフトに自動で取り込む

導入費用：¥ 2, 5 9 2 千円（税抜）



排泄記録
排泄見守り

排泄の見守り時間削減
AIでの排泄記録



睡眠記録
呼吸記録
離床センサー

夜間の見守り時間削減

介護ソフトに自動転記

記録時間の削減

取組の背景

●抱えていた問題点

- ①夜間の巡回業務が負担となり、その他の業務を行う余裕がない。
- ②排泄介助の際に手が汚れるため、すぐに端末に入力できず記録漏れが発生
- ③利用者のプライバシーに配慮できていない

●解決に向けた課題設定等

- ①睡眠状態を判定するセンサーを導入
- ②センサーと記録ソフトを自動連携
- ③トイレにセンサーを設置し、職員の付き添いをなくす

取組の成果

・夜間巡回業務を、75%削減

スタッフが全居室を見回る時間
1時間に1回(10分×12回) → 4時間に1回(10分×3回)

・排泄介助業務を、50%削減

トイレの付き添いに係る時間 60分 → 30分

・夜間見守り記録、83%削減

介護ソフトに入力する時間 60分 → 10分